



# 「市長に聞く」

4月12日に行われた庄原市長選挙で、滝口季彦市長が再選しました。平成17年の旧1市6町の合併から引き続き市政運営を担う滝口市長に、今後の課題や展望を聞きました。

でした。本年度は地域活性化支援機能を強化するため、各支所に企画調整室を創設しています。各地域の個性が輝くクラスター（ぶどうの房）型のまちづくりを進め、更なる情報提供と市民理解を得ながら一体的な発展に力を注ぎます。



市長の初登庁

## ―2期目に挑戦したいことは―

### 農

林業を基幹産業として位置付け、まず一次産業を元気にして、二次・三次産業を元気にしていくべきだと考えています。世界では約10億人が飢えに苦しみ、食料が各国の戦略物資になっています。日本の食料自給率は40%、広島県は24%程度ですが、その中で農地が荒廃を続けていけば再生困難になると危機感を募らせています。昨年のサブプライムローン問題に端を発した経済・雇用危機を契機に、国もやつと農業への視点を重視しました。国の施策を最大限活用し、農業への参加を呼びかけ、農地を守り、ふるさと再生に懸命に取り組みたいと思います。

自治振興区との協働で地域活性化を図るとともに、農業を元気にする農業自立振興プロジェクト、豊富な森林

## ―選挙を通じて感じたことは。―

### 現

職としては非常に厳しい選挙戦でした。過疎化の進行や景気後退など、世の中に閉塞感が漂っており、ともすれば「どうしていいかわからない時代」背景の中で、現状を打破するために、「チェンジ」とか「変革」という言葉を訴える方がやりやすいです。継続よりも新しい手法を求める

資源を活用する木質バイオマス活用プロジェクト、そして、U・Iターンやグリーンツーリズムによる定住・観光振興プロジェクトの3つのプロジェクトを推進します。もちろん暮らしに直結する医療・福祉・教育にも今まで以上に力を注ぎ、充実させなければいけません。

―自治振興区活動に格差が広がっています―

### 人

口や世帯数が少なく、活動が低く迷っている自治振興区は統合・再編を勧めたいと思います。また、リーダー育成や、企画調整室との連携、公民館の自治振興センター化などにより、自治振興区が活動しやすい環境を整備することが必要です。

## ―周辺自治体との連携は―

### 庄

原市と三次市は共通する課題も多くあり、連携が必要だと感じています。特に、広域観光交流で連携を強化したいと思います。三次市には奥田元栄・小由女美術館や三次ワイナリー、君田温泉森の泉などがあり、また、庄原市にも備北丘陵公園や比婆道後帝釈国定公園、かんぼの郷庄原など多くの観光資源があり、お互いの資源を結んで観光交流人口を増やしていくことが大切です。

風潮もあります。その中で、再選できたというのは、有権者の皆さんが4年間の実績を評価してくださったのだと思います。

一方で、批判票の多かったことに、市政運営を謙虚に、緊張感を持ってあらなければならないと感じています。選挙を通じて①財政運営、②行政運営手法、③周辺部への配慮が批判されました。

財政状況は確かに県内14市で最下位ですが、改善の方向に向かっています。持続可能な財政運営プランに基づいて、プライマリーバランスを図りつつ、着実に借金は減らしてきています。厳しい財政状況を理由に何もなければ、財政状況は改善しますが、市の活性化にはつながりません。家計と同じように、借金をしてもやるべきことはやらなければいけないと思います。

行政運営手法は、トップダウンと批判されました。トップに立つ者がブレてはいけないので、一旦政策決定すると成り立つまでとことん頑張ることになっています。その手法が、外部から見るとワンマンでトップダウンに見えるかもしれません。しかし、政策決定の過程においては、職員からのボトムアップを大切にしています。

周辺部への配慮は、これまでも一体的な発展を目指し努力してきましたが、実績として理解してもらえません

―市民の皆さんに呼びかけたいことは―

### お

互いさま」と言い合える共生社会の実現を目指し、徹底した情報公開で公平・公正、市民の目線で公金を預かっているという謙虚な気持ちで行政執行にあたるよう約束します。

協働のまちづくりには、行政と市民がお互いに理解・努力することが必要です。広報紙の発行や出前トーク、ふれあい市長室など、広報・広聴をしっかりとやっていきますので、市民の皆さんも十分活用いただき、市政を正しく理解し、まちづくりに参加してほしいと思います。共に「夢と活力のある美しいふるさと」を創っていきましょう。



「市民の目線に立ち、目配り、気配りが必要」と職員へ訓示



## 市長選挙結果

当選	13,626票	滝口 季彦	無所属
	9,832票	入江 幸弘	無所属
	4,204票	藤原 義正	無所属
	1,016票	林 保武	無所属

## 市議会議員選挙結果

当選	1,577票	横路 政之	公明党
当選	1,444票	竹内 光義	無所属
当選	1,369票	福山 権二	社民党
当選	1,313票	垣内 秀孝	無所属
当選	1,270票	八谷 文策	無所属
当選	1,233票	谷口 隆明	共産党
当選	1,139票	田中 五郎	無所属
当選	1,129票	佐々木信行	無所属
当選	1,103票	平山 俊憲	無所属
当選	1,090票	坂本 義明	無所属
当選	1,047票	赤木 忠徳	無所属
当選	1,040票	中原 巧	無所属
当選	1,033票	西村 和正	無所属
当選	989票	門脇 俊照	無所属
当選	979票	加島 英俊	無所属
当選	978票	藤山 明春	無所属
当選	943票	岡村 信吉	無所属
当選	933票	宇江田豊彦	無所属
当選	918票	名越 峯壽	無所属
当選	886票	野崎 幸雄	無所属
当選	882票	徳永 泰臣	無所属
当選	851票	和田 満福	無所属
当選	849票	小谷 鶴義	無所属
当選	842票	藤木 邦明	共産党
当選	816票	林 高正	無所属
	766票	堀井 秀昭	無所属
	695票	溝口 致哲	無所属
	663票	松浦 昇	共産党

# 投票率は 83.7%

任期満了に伴う庄原市長選挙・庄原市議会議員一般選挙が4月12日に執行され、市内80カ所の投票所で投票が行われました。

投票率は市長選で83.75%、市議選で83.77%でした。



当選証書付与式に出席した市長と議員



開票作業をする市職員

区分	市長選	市議選
当日有権者数	34,816票	34,816票
投票者数	29,160票	29,167票
投票率	83.75%	83.77%
投票総数	29,160票	29,167票
有効投票数	28,678票	28,777票
無効投票数	482票	390票